

新井八幡宮獅子舞保存会（太田市）



社伝によると文亀元年（1501）に京都より伝承されたと伝わります。毎年9月15日に近い土・日と11月23日に新井八幡宮境内で奉納します。獅子は法眼獅子、雄獅子、雌獅子の三頭からなり、獅子舞は別名、ささら舞と呼ばれています。舞いの演目は4座あり、「平庭」は子供、「梵前かけり」「橋かけり」「雌獅子かくし」は師匠が舞います。太田市指定重要無形民俗文化財

仙石ささら保存会（大泉町）



大泉町仙石地区に伝わる獅子舞で、災いを防ぎ、病魔よけとして元禄年間（1688～1704）から伝承されています。獅子は、ほうがん、牡獅子、牝獅子からなる一人立ち三匹獅子舞です。舞いは、「平ささら」「橋かけり」「牝獅子かくし」の3演目があります。神明宮で春祭、農休み、夏祭、秋祭、新穀祭、元旦祭の年6回奉納します。大泉町指定重要無形文化財

上三林ささら保存会（館林市）



約350年前に武州忍（現埼玉県行田市）の下中条より伝えられたといわれています。十五夜に近い日曜日に上三林町の雷電神社に五穀豊穡、無病息災を祈願して奉納します。上三林のささらは、柳生新陰流の棒振りと笛に合わせて舞う獅子舞（先獅子、中獅子、後獅子）で構成します。演目は棒振りが26通り、獅子舞は31切が伝承されています。館林市指定重要無形民俗文化財

清野町野良犬獅子舞保存会（前橋市）



清野町の八幡宮に伝わる獅子舞で、吉岡町の下八幡宮から慶長年間（1596～1615）に伝えられたといわれています。関白龍天流の一人立ち三匹獅子舞で、前獅子、中獅子、後獅子、ササラ、カンカチ、棒遣い、ホラ貝、笛方で構成します。舞は首を左右に振り上げるのが特徴で、荒々しく勇壮な中にも優雅さがあります。前橋市指定重要無形民俗文化財

受け継がれる 群馬の獅子舞

県内の伝統芸能のうち、獅子舞は群馬内全域で盛んに行われ、その伝承地はかつて250か所を越えていました。本公演では、各地域で大切に守り継がれてきた獅子舞についての講座、鑑賞、体験を通して、群馬の伝統芸能の魅力を紹介します。



昨年度の様子を YouTube で公開 ▶▶▶▶



洋泉興業大泉町文化むら

邑楽郡大泉町朝日 5-24-1 TEL 0276-63-7733（カーナビ専用）

アクセス

東武小泉線東小泉駅から徒歩 約20分

東武伊勢崎線太田駅から自動車 約15分

JR 高崎線熊谷駅から自動車 約35分

北関東自動車道太田桐生インターから 約20分

東北自動車道館林インターから 約30分

関越自動車道東松山インターから 約60分